

つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALO™

ピックアップ導入事例

無料Wi-Fiで地下でもネットが使えるお店に。 ネット回線を切り分けクラウドPOSレジの共存 を実現するセキュリティ機能「ポートVLAN」 の意外な活用法

矢場町ボクモ 様

名古屋市中区の飲食店「矢場町ボクモ」(以下、ボクモ)は来店者向けのWi-Fi提供を検討、バッファローのフリースポット導入キット「FS-600DHP」などの導入でそれを実現しました。さらに、VPNルーター「VR-S1000」のポートVLAN機能の利用で、インターネット回線を追加することなくクラウド型POSシステム「スマレジ」を利用する業務ネットワークに干渉しない無料Wi-Fiの提供を実現しています。



矢場町ボクモ

年間100近くのイベントを開催する 『文化系飲食店』がWi-Fi提供を検討

名古屋市中地下鉄矢場町駅より徒歩約3分、大きな「ボ」という文字の看板が出迎えるビルの階段を下りた地下1階に「ボクモ」があります。バラエティーに富んだフードメニューは60種類以上。ソムリエの資格を持つ同店店長の岩須 直紀 氏(以下、岩須店長)がセレクトしたこだわりのワインを中心に数多くの酒類を取り揃えます。『文化系飲食店』の名を持つ同店では、音楽ライブやトークイベントをはじめ、大学や研究機関主催の学術イベントなど年間100件近くのイベントを実施。イベント集客にSNSによる情報拡散はかせず、来店者へ自由なSNS投稿を呼びかけていますが店舗がビルの地下階にあるため一部キャリアのモバイル回線が

届きにくいという問題を抱えていました。そのため無料Wi-Fiの提供を検討していましたが、クラウドPOSレジ「スマレジ」を導入している同店ではスマレジ用のWi-Fiを来店者に提供するわけにもいかず困っていたといいます。

業務ネットワークと無料Wi-Fiを両立 「ポートVLAN機能」を活用

そこで、VPNルーター「VR-S1000」の持つ「ポートVLAN機能」を使ってインターネット回線を2つに分岐、「スマレジ」のネットワークはそのままもう一方へ来店者用Wi-Fiを追加しました。来店者用Wi-Fiには「FS-600DHP」を使用、店舗規模に合わせて11ac対応Wi-Fiアクセスポイント「WAPM-1166D」を追加しました。これにより

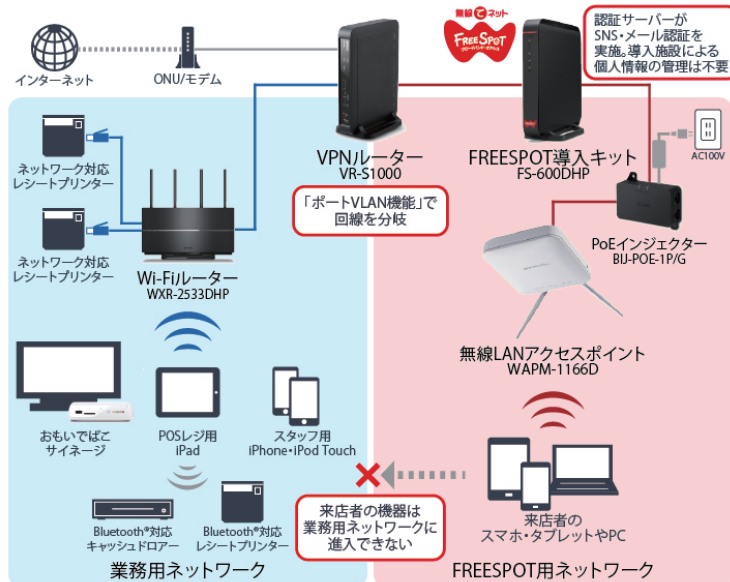


音楽、トーク、学術イベントなど、様々なイベントが日々客席を盛り上げる

開始からおよそ3時間で各種設定を含めたすべての施工が完了。施工当日から無料Wi-Fiの提供を開始できました。

常連客に好評、イベントでの活用や 新たな利用ニーズにも期待

取材日から来店者は自由にインターネットを利用できるようになり、カウンター席の常連客は話題探しにスマホでネット検索を利用。「これでモバイル回線の残容量を気にする必要がなくなった」と喜びの声。1Gbpsの光インターネット1回線を2つに分岐しているため通信速度が気になるころでしたが、測定アプリで下り100Mbps前後の速度が提供できていることを確認。「これはイベントでも活用できそうですね」と満足げに話す岩須店長。さらに、新たな利用ニーズにも期待を寄せています。「Wi-Fiが提供できることで、食事ができるコワーキングスペースのような利用も可能になりますね。ノマドワーカーの皆さんに落ち着いた雰囲気でも美味しい食事が提供できる当店をぜひご利用頂きたいです」と岩須店長は語っていました。



「矢場町ボクモ」の機器構成。既存の業務用ネットワークを「VR-S1000」で切り分け、「FREESpot用ネットワーク」を追加

導入製品



FREESpot導入キット
FS-600DHP



IPsec対応
VPNルーター
VR-S1000



11ac/n/a&11n/g/b対応
無線LANアクセスポイント
WAPM-1166D



IEEE802.3af
PoEインジェクター
BU-POE-1P/G

